

# 平成26年度 学校評価実施報告書

学校名( 京都市立 七条 中学校 )

## 1 平成26年度 重点評価項目

- ・「基礎的な学力」と「探究的(活用型)な学力」のバランスのとれた学力の向上
- ・「規範意識の高まり」「自立・自律の心」「自己有用感」を育む道徳教育
- ・小中連携

## 2 1回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定				・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理	自己評価	学校関係者評価		
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	評価日	平成26年10月20日	評価日	平成26年10月23日
					評価者・組織	学校評価委員会	評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員
1 確かな学力	わかる授業の創造・言語活動の充実	・教科会の充実 ・研究授業の実施	各種学力調査結果、生徒学習アンケート	全体的には1, 2年は平均値を少し上回るが、3年はほぼ平均値。	⇒	学習規律はほぼ浸透してきた。教科会等をもち、授業改善を試みているが、なかなか話し合い活動の場が設定できていないなど不十分な部分もある。これらのことから、各種テストの伸び悩んでいることにつながっていると考えられる。基礎学力が定着していない生徒の家庭学習の習慣化については、ノート指導をするなどの対応や家庭連絡等を考えいく。	「考へさせる」授業展開を取り入れることで、「わかる」「言語活動が充実する」につながると考えるので、引き続き教科会や校内研修を中心に授業の改善に取り組んでいく。基礎学力が定着していない生徒の家庭学習の習慣化については、ノート指導をするなどの対応や家庭連絡等を考えいく。	校外(地域の施設)で学習について話題にしている話を耳にすることがある。学習に関しては意識をしているようである。教室以外での学習ができるスペースの確保を考えてみればどうか。これからも学習に関して積極的に取り組んでほしい。
	表現力の育成	・研究授業の実施	研究授業、教職員・生徒アンケート調査	指導した範囲ではそれなりに話すが、まだまだ応用は利かない		これからも体験活動を精選し、適切な時期に取り組むよう計画をする。道徳教育において自己有用感を高めるために取り組んでいく。そのためには、そのためにねらいに沿った場を意識して設定していきたい。また、生徒会役員を中心とした生徒集団の組織化と統一性を持った生徒指導にあたる。	校外で出会っても丁寧に話ができるようになってきているが、ある場面ではきちんと話ができない場面も見かける。言葉づかいも含め規範意識の向上に努めてほしい。子ども達が真剣に将来の話をするのも見かけた。これからも様々な活動の場を設定してほしい。	規範意識の向上においては家庭の協力が必要である。気になる場面に出てわせば注意をしていくし、積極的に啓発に協力したい。
	家庭学習の習慣化	・学校だよりによる啓発活動 ・定期的な課題の作成	教職員・保護者・生徒アンケート、提出物	家庭学習の習慣化に向けて、課題を設定するも特定の生徒の提出率が低い		おむねできているという結果が得たが、定着できていない。	おむねできているが、これからも取り組んでいくことが不可欠である。	おむねできているが、これからも取り組んでいくことが不可欠である。
2 豊かな心	豊かな体験活動の実践	・職場体験 ・ファイナンスパーク学習	生徒アンケートによる意識調査	体験を通して「満足感」「充実感」を感じている生徒の割合は高かった	⇒	「あいさつ」「ヘル着」「早寝・早起き・朝ご飯」等の基本的生活習慣の確立に向けて取組み、成果が出てきているものがあれば、「早寝・朝ご飯」は学年が上がるごとにできなくなることに対する意識が残る。夜遅くまでの塾なども影響するのかもしれない。安全に対する意識も今後高めていきたい。	今後も生徒会活動とともに、基本的な生活習慣が確立できるように取り組むとともに家庭への発信をしっかりとしていかたい。また、自転車の乗り方なども含めて安全に対する意識を高めていきたい。	例えば、スマホ等の危険性に気づかず使用している子どもが増えてると講演で聞いた。生活中潜む危険なことに対して、子ども達の安全意識を高めるために話し合いの場を持たせてはどうか。
	豊かな心の育成	道徳の時間を中心に話し合い等の場を設ける	道徳教育全体計画の実施状況、ひよこアンケート	5月に「自己有用感」が低いという結果。計画的な取組の結果、やや改善の方向		おむねできているが、これからも取り組んでいくことが不可欠である。	おむねできているが、これからも取り組んでいくことが不可欠である。	規範意識の向上においては家庭の協力が必要である。気になる場面に出てわせば注意をしていくし、積極的に啓発に協力したい。
3 健やかな体	望ましい言葉つかいの徹底	生徒会活動や授業を中心とした取り組み(呼びかけ)	教職員・保護者・生徒アンケート	おむねできているという結果が得たが、定着できていない。	⇒	「あいさつ」「ヘル着」「早寝・早起き・朝ご飯」等の基本的生活習慣の確立に向けて取組み、成果が出てきているものがあれば、「早寝・朝ご飯」は学年が上がるごとにできなくなることに対する意識が残る。夜遅くまでの塾なども影響するのかもしれない。安全に対する意識も今後高めていきたい。	例えスマホ等の危険性に気づかず使用している子どもが増えてると講演で聞いた。生活中潜む危険なことに対して、子ども達の安全意識を高めるために話し合いの場を持たせてはどうか。	まずは生徒会の子ども達を中心に話し合う機会をつくり考えてみてはどうか。我々も地域の安全な環境をつくるように協力していく。
	安全教育の充実	避難訓練・防災活動・安全学活の実施	安全計画の実施及びとの状況	安全に対する意識は高くなっている。避難訓練の避難に要する時間は昨年度よりも早くなる。		校区3小学校と共通テーマとして道徳教育推進の取組を進めている。夏には「道徳・生徒指導・総合育成支援」をテーマに研修を実施。	小中主任会(教務・学習指導・生徒指導・道徳推進・総合育成支援教育)を定例化して開催しているが、今後も明確なねらいを持つて連携を深めていく。学校運営協議会を中心として地域教材の発掘、防災教育の取組の準備中である。吹奏楽部を中心に地域の施設へ出かけての交流も行っている。HPについて、昨年度より更新できている。	今後の防災学習は新たな取組なのでどのような反応が返ってくるか楽しみである。
4 独自の取組	小中一貫教育の推進	・小中の合同研修会の実施 ・オープンキャンパスの実施	小中合同研修会の実施	校区3小学校と共通テーマとして道徳教育推進の取組を進めている。夏には「道徳・生徒指導・総合育成支援」をテーマに研修を実施。	⇒	校区3小学校と共通テーマとして道徳教育の取組を進めている。「学習指導・生徒指導・総合育成支援教育」においても連携を図っている。学校運営協議会を中心として地域教材の発掘、防災教育の取組の準備中である。吹奏楽部を中心に地域の施設へ出かけての交流も行っている。HPについて、昨年度より更新できている。	今後の防災学習は新たな取組なのでどのような反応が返ってくるか楽しみである。	今後も児童・生徒の健全な育成に向けて、中学校区全体で小中が連携した取組や今回の防災学習のように学校と地域をつなぐ取組にこれからも協力していく。
	情報発信の充実	学級・学年・進路だよりの発行やホームページの更新	学級・学年だよりの発行・HP更新状況	学年だより等は定期的に発行。HPの更新は順調に行えている。		開かれた学校づくりの状況	防災学習の取組を準備中	開かれた学校づくりの状況
	保護者・地域との連携	学校運営協議会を中心に防災教育に取り組む						